

# 未来



全労協・郵政産業労働者  
ユニオン長崎中郵支部  
機関紙 「みらい」  
NO. 4188  
21年10月1日(金)  
Tel・Fax 095-828-1953

# 誤表示だらけの本社ドラレコ マスター制度に疑念有り

おはようございます。  
9月11日72点、16日68点、18日なし、20日84点。  
これは郵便局の四輪車に装備されている通称「本社ドラレコ」で採点し、3階のドラレコ診断掲示板に表示された私の運転診断結果(点数)です。しかしこの点数は私の診断結果として張り出された点数であって、ドラレコで運転診断された私の点数そのものではありません。実際の点数は9月11日が85点、16日は90点でした。  
実際に運転診断された点数(下段)は、管理者向けの「スマイリングロード」というサイトで、各自の運転診断結果、乗務した際の詳細なスコア・データとして見る事が出来ます。これには運転期間(実際に稼働した日時、分単位)スコアとして、得点・走行距離・



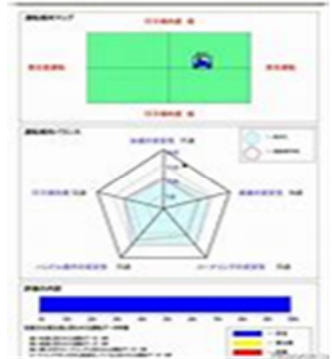
運転時間が走行区間ごとに詳細に表示されます。  
本来、ドラレコを活用した運転指導とは、この詳細な走行データが記載された運転診断結果で行うものです。これには得点のほか、「加速・減速・ハンドリング・エコ運転」の4項目について5段階表示で、どの作業が得点に影響したかも記載されています。また走行軌跡を取り出すこともできる

	9月11日	16日	18日	20日
診断結果一覧表記載の点	72点	68点	なし	84点
スマイリングロードに表示された点	85点	90点	88点	86点

ため、各自の得点の低かった区間を集積することで、危険個所の洗い出しにもつながります。

私は以前より自分の運転を振り返るため、部長にこの運転診断結果を見せて頂きながら運転を振り返っていました。このため毎日張り出される9月期診断結果一覧表の点数が異なることに気づきました。

9月中旬の11〜20日の間、私は日勤小包が一回、夜勤小包担当が3回、合わせて4回四輪車に乗務しています。この間の診断結果として張り出された点数は、全て実際にドラレコが運転診断した点と異なります。(左



上の表参照) 関係者に聞くと、現在の点数表示は午後零時から次の日の午前11時59分までの24時間を一つの運転として運転診断します。その為、左表のような不具合が出ます。

本社ドラレコは、社員(ドライバー)番号で表示するのではなく、車両ごとの表示システムです。一日に1つのデータしか

### 本社ドラレコ誤表示の例

- 午前中乗務したA社員のデータと前日の夕夜間帯に乗務したB社員のデータが、一回の運転診断として表示されるケース (A社員の90点とB社員の70点が合算・平均化され80点と表示)
- A社員が(午前・午後)乗務した車両を、夕・夜間帯にB社員が乗務した場合、どちらか一方の得点しか表示されないケース
- 上記例で、計測されたA社員の点数が、B社員の点数として診断結果一覧表に掲載されるケース
- 逆に前日の夕・夜間に乗務したB社員の点数が、翌日午前中乗務したC社員の点数として表示されるケース

表示しないため起こるわけですが、これで各自の点数が正しく表示・張り出されていると言えるでしょうか。  
各部には、月ごとの平均点が70点後半の社員も多くいます。彼らの得点に間違いはなかったのでしょうか。実際には80点の基準値をクリアしていたにもかかわらず、5点低く誤表示されたため、マスターに認定されなかったという社員がいてもおかしくありません。  
マスター制度として、月間基準点をクリアした社員は、マスター(4か月連続で最上位のプラチナマスター)に認定されます。人事評価・スキル評価や正社員登用試験や地域基幹職への昇任試験受験の際に、自己アピールになると思い頑張っている社員も多いと思います。  
また高得点⇨安全運転とは限りませんが、安全運転技術向上のため高得点を目指している社員も多いと思います。  
誤表示問題は長中局だけの問題ではありません。早期の改善を上申することを求めます。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。  
期間雇用社員の希望者全員が正社員化を。ゆれば、均等待遇。なげんご差別。ユニオンは労基法裁判に勝利したんや。